校　　訓　：　真　善　美
学校教育目標　：　心身ともに健康でたくましく、課題を追究する力を身につけた、未来社会を担うことができる生徒の育成
令和５年度
第１９号　　長崎市立片淵中学校
R5.12.12　　校長　　修行　勝則

# 城ノ古址

## 新生徒会役員が決定しました！

１２月５日（火）に生徒会役員選挙が行われました。５名の立候補者が立会演説会で、学校生活をよりよくするための熱い志を述べ、その後、投票を行いました。当選した新生徒会役員は次のとおりです。また、残念ながら当選を果たせなかった２名の立候補者も、片淵中のリーダーとして今後の活躍を確信しました。

この後、書記や専門委員長が決定し、新しい生徒会執行部がスタートします。

会　長：２年２組　〇〇　〇〇　　副会長：２年１組　〇〇　〇〇
副会長：１年１組　〇〇　〇〇

## 「人権集会」を実施しました！

１２月４日～１２月１０日の１週間は「人権週間」です。全国で様々な活動が行われました。片淵中学校では、各学年でテーマを設定して学習を進め、その成果を１２月７日（木）の人権集会で発表しました。その活動の一部が人権宣言文に示されています。

片淵中生徒会人権宣言より（一部省略）～

人権とは、すべての人たちが、人として自分らしく生きる権利のことです。・・・しかし、今、私たちの周りには、・・・SNSでの誹謗中傷、いじめ、障がいのある人への無配慮、多様性への無理解など、「誤った認識」、「偏見」、「無関心」により悲しい思いを抱えている人も少なくありません。

日常生活を振り返ってみてください。・・・自分の行動が本当に正しいかどうかを判断できていますか？あなたは、あなた自身も、あなた以外の人も、大切にできていますか？

「人権を大切にする」とは、どのようなことでしょうか。人権学習を通して、私たちは考えました。

１年生は、仲間づくりと他者への思いやりをテーマにして、いじめ問題について皆で考え、SNSやインターネットなどのいじめ問題を劇にしました。劇を通して、いじめ問題は全員に関わりがあることを再認識しました。

２年生は、部落差別、障がいのある人への差別、伝染病に感染した人たちへの差別について学びました。これらの問題は、誤った認識によって起こることを知り、正しい知識、理解を身に付けることの大切さに気付きました。

３年生は、パラリンピックの競技を自分たちで考えました。競技について考える中で、誰もが楽しくスポーツを楽しめるように工夫することが大切なことに気付きました。・・・・人権は、絶対に侵してはいけないものであり、一人一人が思いやりと正しい認識をもつことで守ることができると私たちは学びました。

この片淵中学校が思いやりあふれる学校になるよう、私たちは次のことを宣言します

**一、私たちは、いじめを見て見ぬふりをせず、みんなで助け合って生活します。**
**一、私たちは、周りの人が悲しむことのない言動を心がけます。**
**一、私たちは、一人一人の個性を認め合い、周りの人を大切にします。**

片淵中学校のみんなが、お互いの人権を尊重しながら、自分らしく笑顔で生活できるよう、私たち自ら行動していきましょう。